

## 「イギリス文化概論」の授業評価

### 1. 授業の目的と内容

#### 1) 授業の目標

これからの国際社会で求められる資質を向上させるために、イギリス文化の考察を通して、(1) 多様な文化の見方、(2) 幅広い異文化への知識、(3) 英語による情報収集力および発進力を身に付ける。

到達目標は次の3つである。

(1) 多文化社会イギリスの様々な人々の考え方、生き方に協調できるようになる。(興味・関心・態度)

(2) イギリスの歴史、風土、文化について具体的に説明できる。(知識・理解)

(3) 英語を使って、イギリスの文化情報を収集し、また伝えたい文化についての情報を発進できる。(技術)

#### 2) 授業の内容

(1) イギリスに関連したDVD、BBCニュース等を視聴し、イギリス文化に親しむ。

(2) 英文資料を読み、イギリス文化についての基本的知識を得る。

(3) イギリスの新聞、雑誌の記事を正確に読み取る。

### 2. 授業の工夫

#### 1) 授業の進め方

受講者は国際理解教育コース15人、その他の課程コース、専修人の、合わせて18人。授業の展開は前半、中盤、後半の3つのパートからなる。前半ではイギリスを身近に感じてもらうために、イギリス旅行をしながら様々な文化的体験をする内容のDVD、ビデオを視聴した。視聴後、旅行英語の復習をした。中盤は、民族、言語、環境などイギリス文化に関する英文エッセイを精読した。輪番制で、学生がリポーターとなり、担当箇所の内容を日本語で紹介してもらった。全体の整理のために、重要なパッセージをパワーポイント

で提示し、英文理解と文化理解を深めることができるよう試みた。後半の15分程度は、授業のテーマと関連性を持ち、かつイギリス文化への関心を高めるために *My Fair Lady* などの映画を視聴した。

15回という全体の授業の展開という点では、約10回目までは上のような構成で授業を行った。後半5回は、イギリス文化理解に役立つトピックの一覧を提示し、学生に自由に選ばせ、それについての調査と調査結果の発表することを課した。ゆえに、学生の発表、質疑応答が後半5回の授業の中では中心となった。

#### 2) 指導上の工夫

第一に、洗練された文化のモデルとしてイギリス文化を紹介するのではなく、多様な文化的視点を身につけるために、混成し流動する現在の多文化社会イギリスの側面を紹介した英文資料を使用した。第二に、イギリスを見直に感じてもらうように、BBCニュース、DVD、ビデオなど視聴覚教材を多く使用した。第三に、英語による情報収集力を高めるために、英文資料を精読し、ポイントとなる英文をパワーポイントで示し、理解を深めるように務めた。また後学期の第一時限であったため、居眠りを防ぐために、ポキャブラリーを向上させるエクササイズなどを授業の後半に取り入れた。最後に学生の視点でイギリス文化を捉えてもらうために、代表的なイギリス文化のトピックを一つ選んで、自ら調査し、調査した内容を発表させるようにした。

### 3. 学生の評価と今後の改善に向けて

授業の14回目に、授業評価アンケートを行った。アンケート内容と結果は以下の通りである。

#### 1) アンケート内容と結果

(1) シラバスへの準拠

強くそう思う (6)、まあそう思う (7)、どちらとも言えない (1)、あまりそう思わない (3)

(2) 説明の分かりやすさ

強くそう思う (7)、まあそう思う (4)、どちらとも言えない (4)、あまりそう思わない (2)

(3) 授業の進度・時間配分

強くそう思う (6)、まあそう思う (3)、どちらとも言えない (0)、あまりそう思わない (1)、全くそう思わない (1)

(4) 内容への興味・関心

強くそう思う (5)、まあそう思う (10)、どちらとも言えない (1)、あまりそう思わない (2)、全くそう思わない (1)

(5) 将来の進路に役立つ

強くそう思う (5)、まあそう思う (8)、どちらとも言えない (4)、あまりそう思わない (1)、

(6) 教材の使い方

強くそう思う (5)、まあそう思う (6)、どちらとも言えない (4)

(7) 教員の熱意・意欲

強くそう思う (7)、まあそう思う (5)、どちらとも言えない (3)、あまりそう思わない (0)、全くそう思わない (1)

(8) 授業の満足度

強くそう思う (6)、まあそう思う (5)、どちらとも言えない (5)、あまりそう思わない (1)

-----自由記述-----

授業の良い点

- ① イギリスに興味がもともとあったので、内容的には満足だった。
- ② イギリスの歴史から特色に触れる授業であったので楽しかった。
- ③ イギリスについていろいろと学ぶことができてとても良かった
- ④ 皆の発表があつて、さらにイギリスについて知ることができ、とても興味を持てました。
- ⑤ イギリスのことについて知識を増やすこと

ができてよかったです。

- ⑥ 春休みにイギリスに行くので、今回の授業を生かして頑張りたいです。

授業の改善点

- ① もっと文化について知りたかった。
- ② 授業の最後に行っていた小テストの時間が短かったので、もう少し長くして欲しかったです。
- ③ 最終試験が30分しかないのが残念でした。1時間ぐらいの時間を取ってほしかったです。

2) 反省と今後の課題

本年度は様々な業務が重なり、授業に集中することができなかった。授業の準備が十分できず、これまで使った材料を使い回すことが多くなってしまった。やむを得ない面もあるが、トータルで見れば満足できるような授業とはならず、反省することが多い。計画性のない授業展開となり、学生にとっては対応しづらいものとなってしまった。それ以外に次の2点は依然として解消されておらず、課題として持ち越すことになった。

(1) 一回ごとの授業の明確な目標と展開, 15回の授業の整然とした構成, 体系性

文化という多様な領域を扱っているといつの間にか焦点がぼやけて来る。一回毎の授業の目的にそってきちんとした授業の展開を図ること、かつ最終的な達成目標に確実に近づいていくように、そうすることで学生が達成感を持てるように、15回の授業がきちんと構成され、同じレベルの繰り返しでなく発展していくように展開していく必要がある。

(2) ていねいな説明力

文化を扱うとその場その場の思いつきで話してしまう傾向がある。すべてに不十分な形でコメントするより、論点を絞り事前に十分内容を整理して説明するように心がける必要がある。

